

障害児基礎教育研究会(水口研)

第338回定例会のお知らせ

障害児基礎教育研究会では、毎月1回 事例研究会を開催しております。ご興味のある方は、お近くの会員又は下記お問い合わせ先までご連絡ください。

第338回 定例会 令和4年7月9日(土) 15:00-17:00

15:00-17:00 実践報告

テーマ：「Kさんの発達を促す手指操作の課題を探ろう！！」

発表者：宮平順子(沖縄県立宮古特別支援学校)

＜発表者より一言＞

21 トリソミー、ファロー四徴症、両耳高度難聴を併せもつ小学部2年生のKさんの事例です。今年度1学期は、「座位保持が安定し視線が上がることで、両手が自由になり周辺の物に興味を示し、自ら手を出して触れる」ようになることを目標に取り組んできました。成果も見られるようになってきましたが、周辺の物に興味を示し、手を出し触れることは特定のおもちゃに限られているため、指導に行き詰まっている現状です。

ぜひ、ご参加の皆さんと児童の実態を共有し、指導の手立てを組み立てるためのご意見を頂きたいと考えております。

☆当日は事前に収録したビデオにより発表いたします。

今月も新型コロナ感染拡大を受け、オンラインでの定例会に変更します。

① 会員の方にはメールでZoomのURLとIDを送付しました。

②会員以外の方で定例会に参加したい方はHP「お問い合わせ」よりご連絡ください。



代表 吉瀬 正則

☆発表内容は都合により変更になる場合があります。詳細はHPをご覧ください。☆

☆定例会の参加費は無料です。☆

お問い合わせ：障害児基礎教育研究会 HP <https://kisoedu.jp/> よりお問い合わせください。

根本 文雄・加部 清子・飯島 徹(会場校 案内状発送)(筑波大附属大塚特別支援学校)

比嘉 展寿(沖縄県立宮古特別支援学校)

長沼 潤子(案内状作成 東京都立中野特別支援学校)

金子記美恵(各種連絡調整 東京都立鹿本学園)

立松 英子(WEB担当：東京福祉大学)